



にじのはし幼稚園 園だより



令和5年10月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

先月はボルダリングの講師をお招きし、年中・年長児は安全なボルダリングの方法を学び、指導を受けながら体験しました。「どのホールドに足を掛け、どこに手を掛けたらよいか」、頭や体全体を使いながらゴール目指して登り切り、喜びを味わっていました。今月は体を動かすのに心地よい気温となります。月末の『にじっこ運動会』をどうぞお楽しみに。

本園の幼児は体を動かすことが大好きです。年長児は一本下駄や縄跳び、リレーごっこを楽しんでいます。年少・年中児は友達や先生と一緒に音楽に合わせてリズムカルにダンスをしたり、アスレチックごっこをして、色々な動きに挑戦したりしています。

『幼児期運動指針』文部科学省（平成24年3月）には、「幼児期は、生涯にわたる運動全般の基本的な動きを身に付けやすく、体を動かす遊びを通して、動きが多様に獲得され、動きを繰り返し、動き方が上手になる。意欲をもって積極的に周囲の環境に関わることで、社会性や認知的な発達が進み、心と体が相互に関連し合いながら総合的に発達していく時期である」と書かれています。体を動かす遊びを楽しむことは、心身の健康はもとより、社会性の育ちや知的な発達など、内面の育ちにも大きく影響します。

幼児期において獲得したい基本的な動きとは、以下の通りです。

「体のバランスをとる動き」…立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がるなど

「体を移動する動き」……………歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべるなど

「用具などを操作する動き」…持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど

これらの基本的な動きは、体を動かす遊びや生活経験などを通して、易しい動きから難しい動きへ、一つの動きから類似した動きへと、多様な動きを獲得していくことが大事です。本園では環境や遊びを工夫し、幼児が意欲的に楽しんで体を動かす中で、身体諸機能を十分に働かせ、基本的な動きを獲得できるようにしています。幼児は自分の力で行動する充実感を味わい、できるようになったことで有能感をもちます。

健康な心と体は生きる源です。本園で育った子どもたちが、生涯にわたって心身ともに健康でたくましく、幸福感をもって生きていく人に成長していくことを願います。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

○健康な心と体を育むため、様々に体を動かし、心と体が動く気持ちよさや楽しさの体験や、基本的な動きの獲得を重視し、発達に即した運動遊びの工夫、戸外遊びの推奨、専門講師を招聘した「ヨガ」「タグラグビー」「ボルダリング」を行います。

